

多々良川ゆめプラン事業2009	記録者	木下 マス子
わくわく体験事業活動記録書	開催日時	平成21年 9月27日(日) 14:00~16:00
	開催場所	多々良川河口域
団体名：ふくおか湿地保全研究会	参加人数	7名
<p>行事名：多々良川清掃&いきものミニ観察</p> <p>今回のわくわく体験の概要： チラシ「ウォッチング！絶滅危惧種を見逃すな」を配布し、分別・回収法など注意点を説明。 清掃を約1時間行い、休憩後カニの観察を水際と護岸から行った。資料「多々良川河口域で出会える生きものたち」「多々良川河口干潟のカニたちとそのすみか」を配布。 回収したゴミ：可燃物13袋、不燃物5袋、ルアー1個</p>		
<p>参加者の感想：（3名程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月清掃しているのにゴミが多いのでびっくりした。いろいろ観察しながら、ゴミも拾えて楽しかった。 ・市のHPを見て、清掃と思って参加したが、観察もできてよかった。 ・動植物の変化などいろいろ説明してもらって、川の生物のつながりがよく分かった。 		
<p>活動団体の感想： 近隣 小学校の運動会と重なり、参加者は少なかったのですが、はじめての参加者が3人見えられ、嬉しかったです。 出てきたカニや植物などの説明をしながらゴミを回収しました。 ヨシ原で半分埋もれていた空き缶を拾い、水を捨てていると、カニが入っていて、中で脱皮し出られなくなっていました。缶を開けてみると絶滅危惧種のウモレベンケイガニで、みなさんに見てもらいました。 望遠鏡でハマシギを観察し、スズメより小さい体でアラスカからニュージーランドへ移動する話にみんな感動しました。 潮が満ちてきたので、護岸からカニと鳥を観察し、ついでにゴミも回収し、カニやカニの巣穴も観察しました。</p>		
<p>観察できたカニ：ウモレベンケイガニ、ハマガニ、アカテガニ、ベンケイガニ、クロベンケイガニ、アシハラガニ 観察できた鳥：トウネン、アオアシシギ、イソシギ、マガモ、オナガガモ、カルガモ、コサギ、ダイサギ、アオサギ。ジェットスキー2艘が進入したため、逃げたものも。 観察した植物：ハママツナ、ウラギク、ハマサジ、ヨシ、アイアシ、フクド、イソホウキギ</p>		
		